

始良・伊佐地域の概況



令和4年5月

始良・伊佐地域振興局

目 次

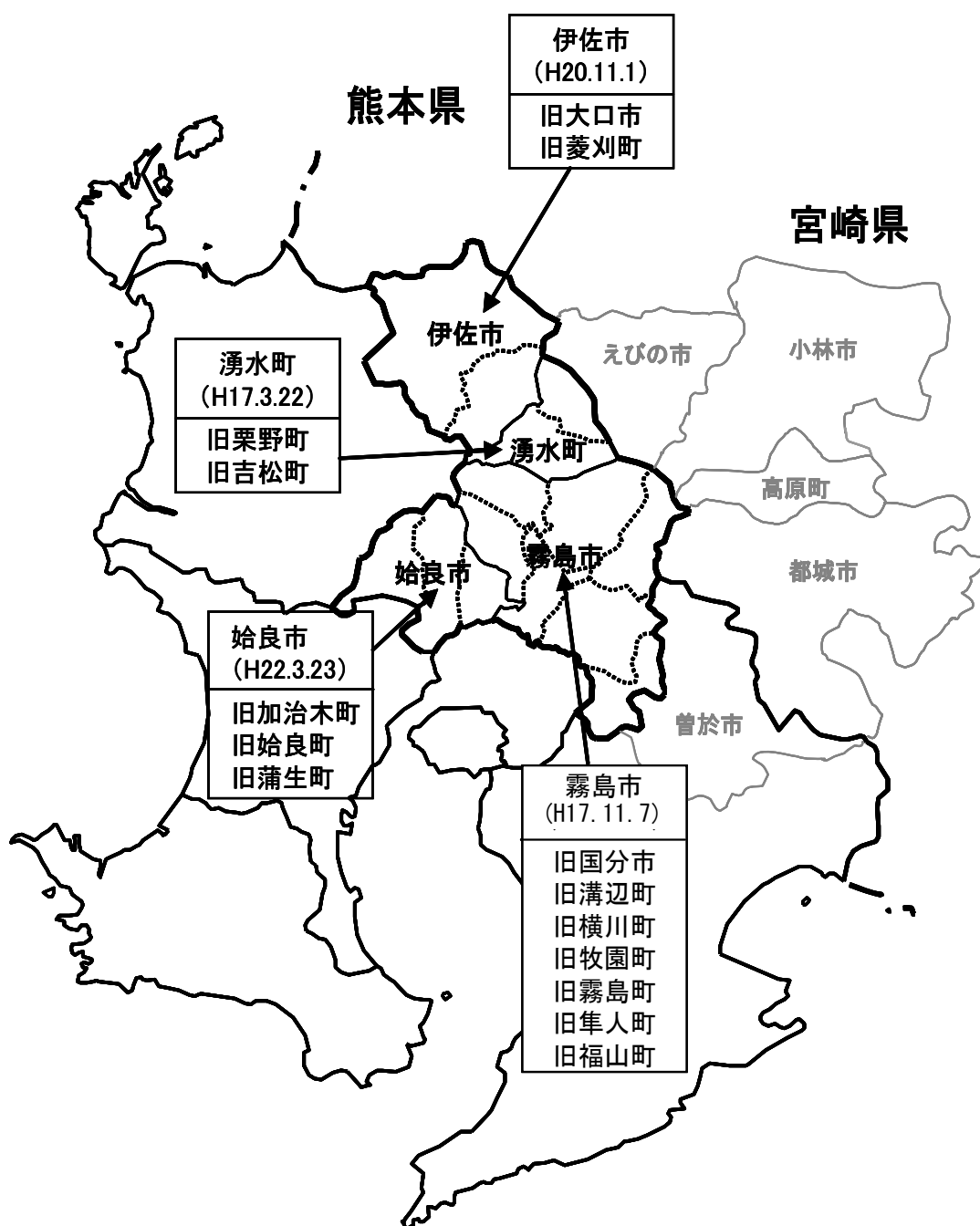
1	地勢等	1
2	面積	2
3	気象	3
4	人口	
	(1) 総人口	4
	(2) 年齢別人口	4
5	産業・経済	
	(1) 産業別就業人口	5
	(2) 産業別総生産額	6
	(3) 主要農畜産物の生産状況	7
	(4) 観光	8
	(5) 社会資本整備状況	9
	(6) 立地企業数	9
6	市町村勢	
	(1) 市町村民所得	10
	(2) 財政状況	10
7	始良・伊佐地域振興局行政組織機構	11
8	令和4年度の重点的な取組	12

始良・伊佐地域振興局管内の概要

1 地勢等

始良・伊佐地域は、本県の中央部から中北部に位置しており、霧島市、伊佐市、始良市、湧水町の3市1町で構成されている。東部は国立公園霧島山系を境とし、北には東シナ海に流れる川内川沿いに大口盆地が広がり、南は錦江湾奥に流れる天降川等に沿って国分平野が広がっている。

交通体系としては、我が国の南の玄関口としての鹿児島空港をはじめ、九州縦貫自動車道、東九州自動車道等の高速道路や JR 日豊本線、肥薩線、吉都線及び加治木港など本県の陸海空の交通の要衝となっている。

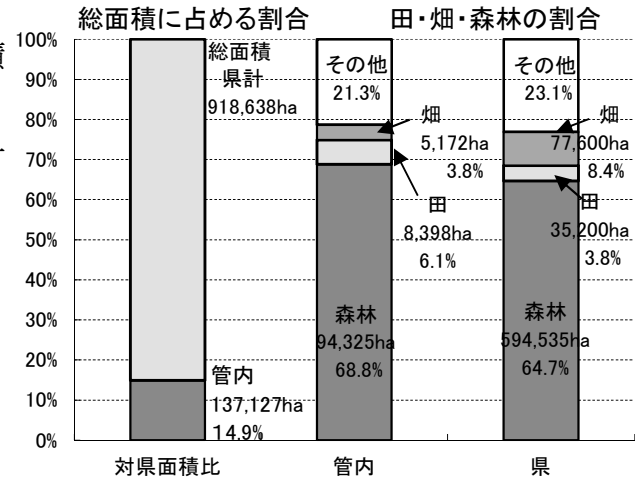


2 面積

管内面積は、137,127haで、県全体面積の14.9%を占めている。

耕地面積は、田8,398ha、畑5,172haで計13,570ha、森林面積は、94,325haである。

県と比較すると、森林と田の割合が高く、特に田は耕地面積の約6割で、県の約2倍の比率となっている。



(単位：ha, %)

区 分	総面積 (ha)	耕 地 面 積 (ha)			耕地率 (%)	森林面積 (ha)	森林率 (%)
		田	畑	計			
霧島市	60,317	2,600	3,020	5,620	9.3	40,813	67.7
伊佐市	39,256	3,590	1,020	4,610	11.7	27,794	70.8
始良市	23,125	1,310	280	1,590	6.9	15,534	67.2
湧水町	14,429	898	852	1,750	12.1	10,184	70.6
管内計	137,127	8,398	5,172	13,570	9.9	94,325	68.8
県 計	918,638	35,200	77,600	112,900	12.3	594,535	64.7
対県割合	14.9	23.9	6.7	12.0	—	15.9	—

資料：総 面 積＝令和4年全国都道府県市町村別面積調（国土地理院 令和4年1月1日時点）

（湧水町は、境界の一部が未定のため参考値を掲載）

耕地面積＝第68次九州農林水産統計年報（令和2年～令和3年）

森林面積＝令和3年度鹿児島県森林・林業統計

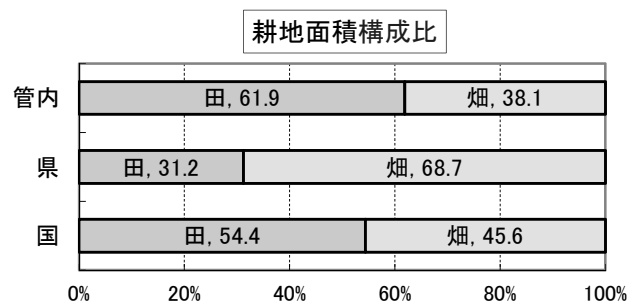
調査の関係で各項目の計は一致しないことがある。

【参考】 耕地面積構成比（単位：%）

区分	田	畑
管内	61.9	38.1
県	31.2	68.7
国	54.4	45.6

資料：第68次九州農林水産統計年報

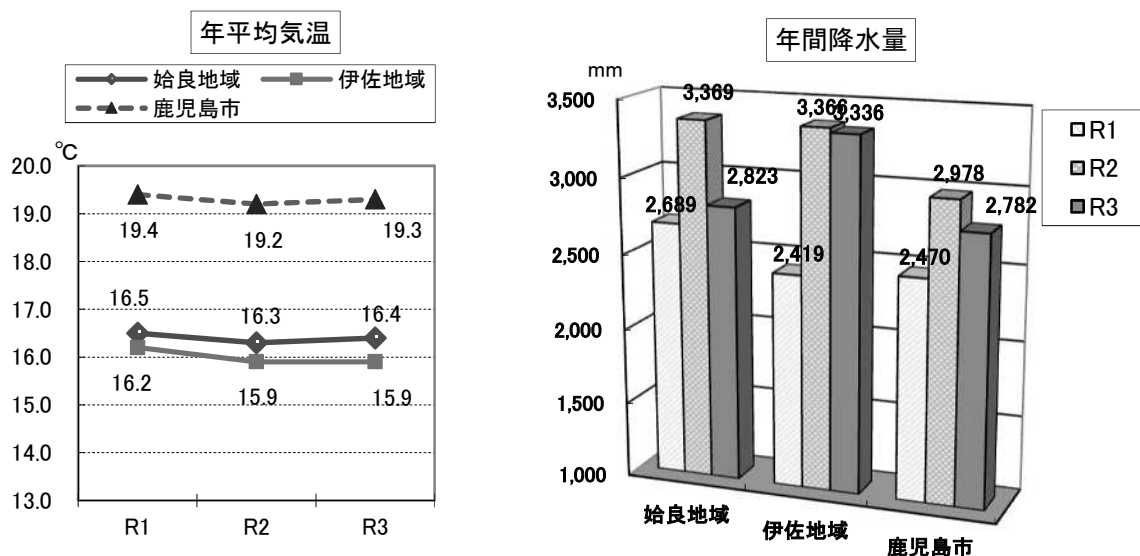
構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とならないことがある。



3 気象

この5年間の年平均気温は、始良地域、伊佐地域とも約16度で、鹿児島市と比べ3度ほど低くなっている。山間部では冬期に寒さが厳しくなるものの年間を通して過ごしやすい気候となっている。

この5年間の年平均降水量は、始良地域、伊佐地域とも約2,900mmとなっている。



(単位：℃，mm，h)

区 分	年平均気温			年間降水量			年間日照時間		
	始良地域 (溝辺)	伊佐地域 (大口)	鹿児島市	始良地域 (溝辺)	伊佐地域 (大口)	鹿児島市	始良地域 (溝辺)	伊佐地域 (大口)	鹿児島市
令和元年	16.5	16.2	19.4	2,689.0	2,418.5	2,470.0	—	1,908.1	1,971.2
令和2年	16.3	15.9	19.2	3,368.5	3,365.5	2,977.5	—	2,009.1	2,041.4
令和3年	16.4	15.9	19.3	2,823.0	3,335.5	2,782.0	—	1,637.3	2,038.6
5年平均	16.2	15.9	19.1	2,844.8	2,898.1	2,580.1			

資料：気象観測データ（気象庁HP 過去の気象データ検索）

【参考】 気温

(単位：℃)

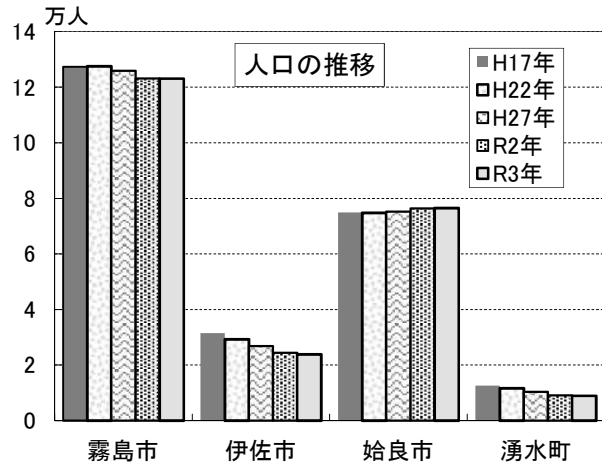
区 分	最 高 気 温			最 低 気 温		
	始良地域 (溝辺)	伊佐地域 (大口)	鹿児島市	始良地域 (溝辺)	伊佐地域 (大口)	鹿児島市
令和元年	33.3	35.7	35.0	-4.6	-5.9	0.6
令和2年	36.2	37.6	37.0	-3.4	-6.4	0.9
令和3年	32.9	35.1	35.5	-5.2	-6.0	-0.6

4 人口

(1) 総人口

管内の総人口は、令和3年10月1日現在、約232千人で県全体の14.7%を占めている。令和2年と比べると、管内人口は0.3%減少しているが、県の減少率0.7%より減少幅は低くなっている。

なお、霧島市及び始良市は緩やかな減少又は増加となっているが、北部地域の伊佐市及び湧水町では、人口減少が続いており、二極化が見られる。



(単位: 人, %)

区 分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年			増減率	
					人 口	対H27	県構成比	対H17	対R2
霧島市	127,309	127,487	125,857	123,135	123,066	97.8	7.8	-3.3	-0.1
伊佐市	31,499	29,304	26,810	24,453	23,861	89.0	1.5	-24.2	-2.4
始良市	74,840	74,809	75,173	76,348	76,511	101.8	4.9	2.2	0.2
湧水町	12,566	11,595	10,327	9,119	8,954	86.7	0.6	-28.7	-1.8
管内計	246,214	243,195	238,167	233,055	232,392	97.6	14.7	-5.6	-0.3
県 計	1,753,179	1,706,242	1,648,177	1,588,256	1,576,488	95.7	-	-10.1	-0.7

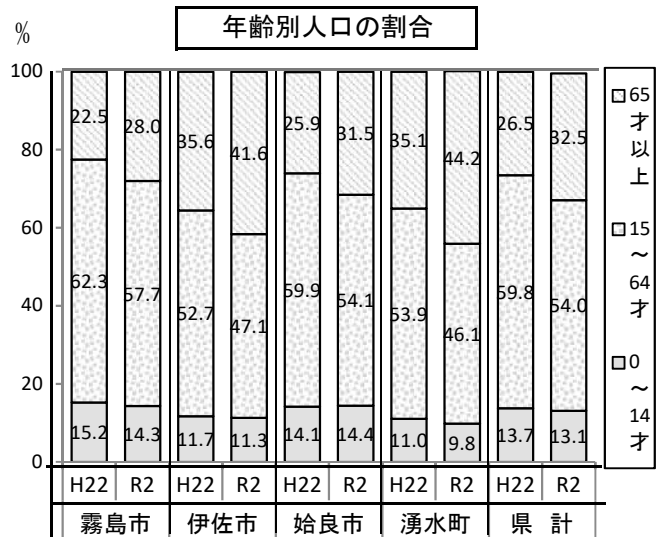
資料: 平成17年, 22年, 27年, 令和2年の人口は国勢調査による

: 令和3年の人口は、鹿児島県推計人口調査 (R3. 10. 1現在) による。

(2) 年齢別人口

各市町の平成22年と令和2年の年齢別人口を比べると、年少人口は始良市で増加しているが、生産年齢人口は、すべての市町で減少している。

老年人口の割合は、各市町とも増加しており、特に北部地域の伊佐市、湧水町の老年人口は40%を超えており県平均を大きく上回り高齢化が一段と進んでいる。



年齢3区分別人口

(単位: 人, %)

市町別	年少人口 (0～14才)				生産年齢人口 (15～64才)				老年人口 (65才以上)			
	平成22年		令和2年		平成22年		令和2年		平成22年		令和2年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合
霧島市	19,305	15.2	17,558	14.3	78,871	62.3	71,083	57.7	28,489	22.5	34,494	28.0
伊佐市	3,431	11.7	2,755	11.3	15,440	52.7	11,525	47.1	10,429	35.6	10,173	41.6
始良市	10,575	14.1	10,996	14.4	44,802	59.9	41,308	54.1	19,388	25.9	24,044	31.5
湧水町	1,275	11.0	890	9.8	6,255	53.9	4,202	46.1	4,065	35.1	4,027	44.2
県 計	233,379	13.7	207,602	13.1	1,016,150	59.8	863,898	54.0	449,692	26.5	516,756	32.5

資料: 国勢調査

※ 割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とならないことがある。

5 産業・経済

(1) 産業別就業人口

管内の産業別就業人口は、第1次産業が約8,000人で6.9%、第2次産業が約27,530人で23.9%、第3次産業が約79,620人で69.1%となっている。

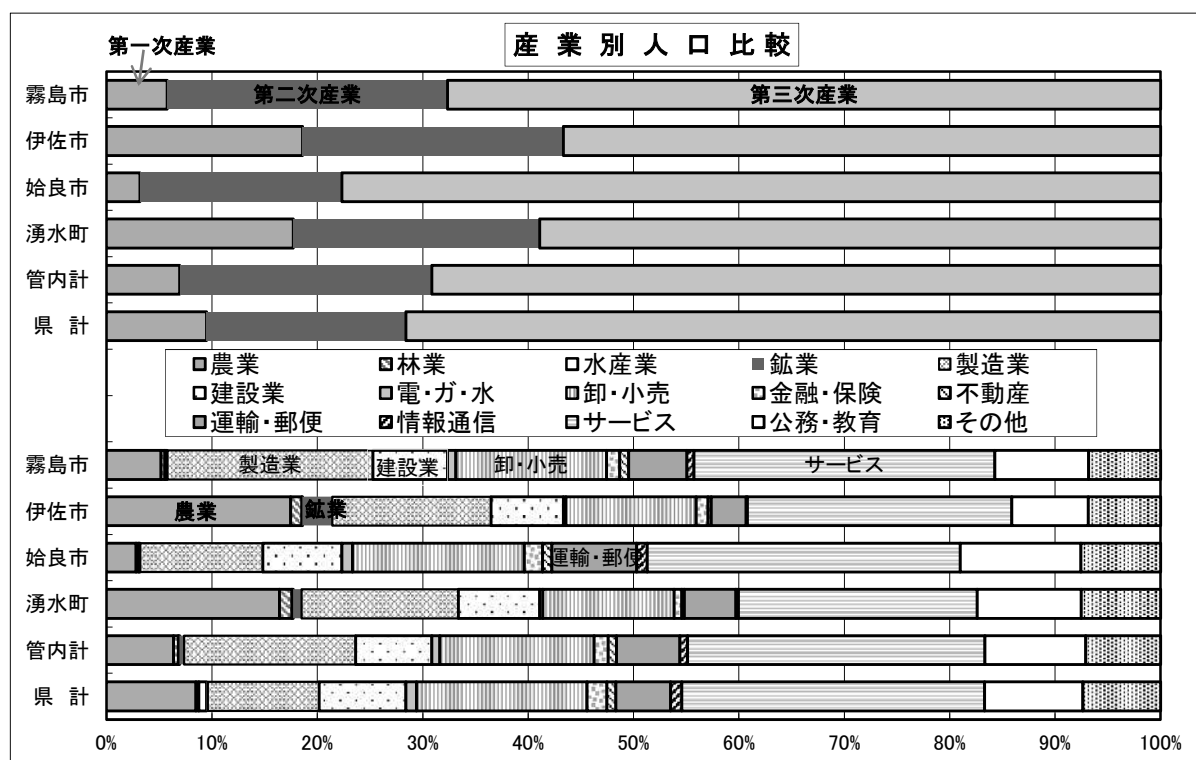
県構成比と比べ、製造業を中心とした第2次産業の比率が高くなっている。

(単位：人，%)

区 分	霧島市	伊佐市	始良市	湧水町	管内計	構成比	県 計	県構成比
第1次産業	3,469	2,530	1,147	851	7,997	6.9	77,688	9.5
農 業	3,119	2,379	1,023	788	7,309	6.3	69,493	8.5
林 業	225	144	90	58	517	0.4	2,293	0.3
水産業	125	7	34	5	171	0.1	5,902	0.7
第2次産業	16,065	3,369	6,971	1,124	27,529	23.9	155,463	18.9
鉱 業	24	385	18	38	465	0.4	1,159	0.1
製造業	11,753	2,050	4,231	716	18,750	16.3	86,567	10.5
建設業	4,288	934	2,722	370	8,314	7.2	67,737	8.3
第3次産業	40,824	7,710	28,256	2,832	79,622	69.1	587,390	71.6
電・ガ・水	461	31	366	15	873	0.8	8,074	1.0
卸・小売	8,633	1,685	5,936	599	16,853	14.6	132,808	16.2
金融・保険	752	151	629	34	1,566	1.4	15,498	1.9
不動産	529	44	314	13	900	0.8	7,086	0.9
運輸・郵便	3,325	450	2,928	234	6,937	6.0	42,457	5.2
情報通信	408	15	373	12	808	0.7	8,824	1.1
サービス	17,220	3,413	10,795	1,089	32,517	28.2	235,758	28.7
公務・教育	5,377	988	4,166	475	11,006	9.6	76,378	9.3
その他	4,119	933	2,749	361	8,162	7.1	60,507	7.4
計	60,358	13,609	36,374	4,807	115,148	100.0	820,541	100.0

資料：令和元年度市町村所得推計「第4表 就業人口」（市町村内常住人口）

※ 割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、計が一致しないことがある。



(2) 産業別総生産額

管内の産業別総生産額とその構成比は、第1次産業が約209億円で2.3%、第2次産業が約3,252億円で35.5%、第3次産業が約5,646億円で61.6%となっている。

産業別の構成比を見ると、第2次産業の中の製造業が24.9%で、県構成比の12.2%を大きく上回っており、また、鉱業は県全体の約71.9%を占めている。

これらは、霧島市の京セラやソニーの工場と関連企業、伊佐市の住友金属鉱山の生産額が大きく影響しているものと考えられる。

(単位：百万円，%)

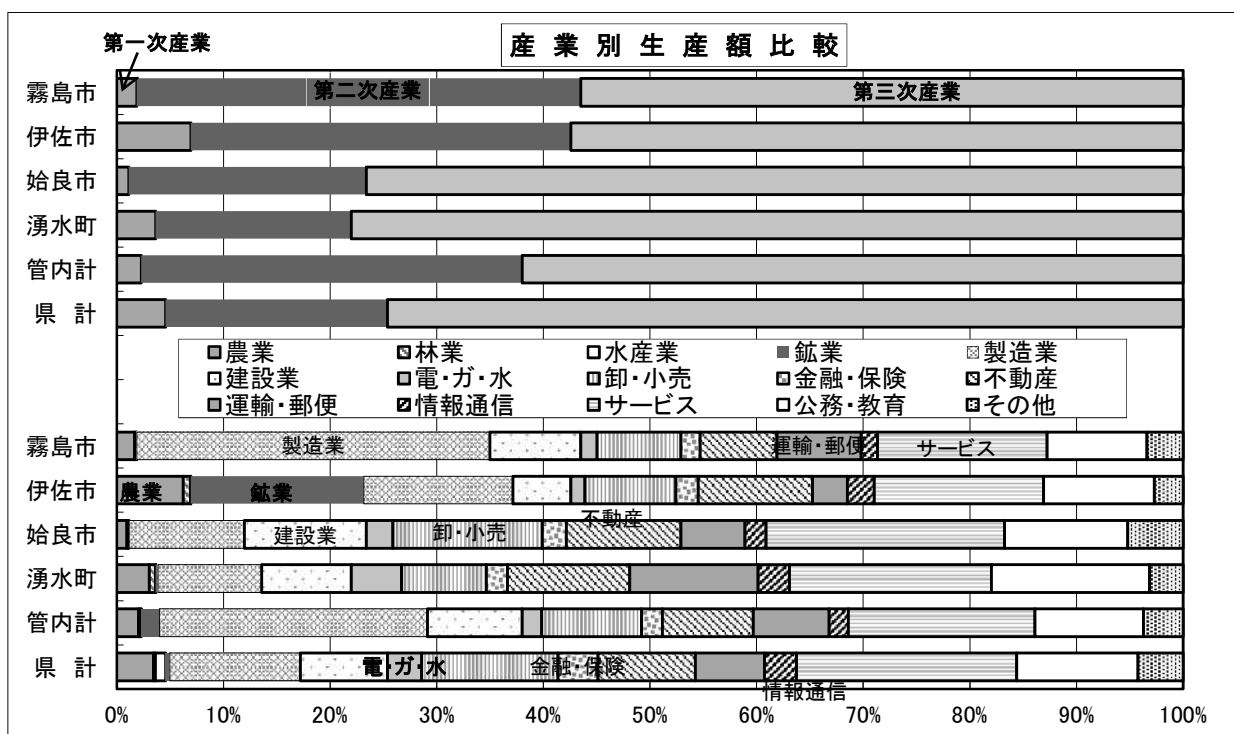
区 分	霧島市	伊佐市	始良市	湧水町	管内計	構成比	県 計	県構成比
第1次産業	10,793	6,614	2,395	1,088	20,890	2.3	263,548	4.6
農 業	9,583	5,947	2,015	906	18,451	2.0	197,042	3.4
林 業	1,071	644	318	181	2,214	0.2	10,110	0.2
水産業	140	22	62	1	225	0.0	56,396	1.0
第2次産業	238,265	33,974	47,512	5,469	325,221	35.5	1,191,058	20.6
鉱 業	21	15,464	105	61	15,651	1.7	21,755	0.4
製造業	189,434	13,329	23,037	2,902	228,702	24.9	701,488	12.2
建設業	48,810	5,181	24,370	2,507	80,868	8.8	467,815	8.1
第3次産業	323,364	54,709	163,271	23,277	564,621	61.6	4,279,655	74.1
電・ガ・水	8,813	1,238	5,295	1,412	16,758	1.8	185,125	3.2
卸・小売	45,046	8,127	29,907	2,371	85,451	9.3	733,326	12.7
金融・保険	10,316	1,997	4,740	591	17,644	1.9	215,411	3.7
不動産	41,144	10,235	22,946	3,417	77,742	8.5	523,554	9.1
運輸・郵便	45,198	3,100	12,782	3,593	64,673	7.1	370,621	6.4
情報通信	8,767	2,403	4,251	876	16,297	1.8	172,428	3.0
サービス	91,066	15,142	47,649	5,656	159,513	17.4	1,184,564	20.5
公務・教育	53,687	9,907	24,660	4,421	92,675	10.1	652,210	11.3
その他	19,327	2,560	11,041	940	33,868	3.7	242,416	4.2
計	576,275	95,938	214,613	30,035	916,861	100.0	5,772,861	100.0

資料：令和元年度市町村民所得推計「第2表 市町村内総生産」

※ 産業別の計は小数点以下を四捨五入しているため、内訳の計と一致しないことがある。

※ 「計」欄の金額は、関税、消費税等が加味されるため、産業別の計の合計と一致しない。

※ 割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、計が一致しないことがある。



(3) 主要農畜産物の生産状況

管内の農業は、地勢や気象などの立地条件を生かし、米やお茶、野菜、肉用牛などの多彩な生産活動が展開されている。

耕種部門の令和2年度の実産量では、米が県全体の約29%を占めているほか、ぶどうは同34%、なしは同67%となっている。

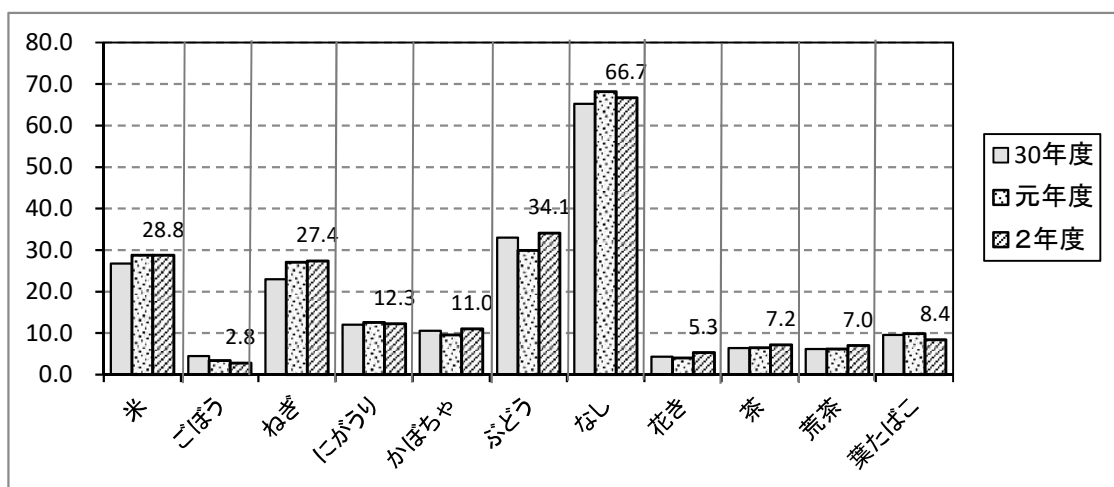
ア 農産物

(単位：ha, トン, 千本, %)

主 要 農 産 物	30年度		元年度		2年度		生産量対県割合		
	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	30年度	元年度	2年度
米	4,950	24,720	5,506	25,490	5,475	25,480	26.8	28.8	28.8
ごぼう	34	266	29	206	27	185	4.5	3.4	2.8
ねぎ	62	875	71	956	79	1,023	23.0	27.1	27.4
にがうり	15	269	15	238	16	238	12.0	12.6	12.3
かぼちゃ	61	833	56	730	67	842	10.6	9.6	11.0
ぶどう	30	248	27	233	27	237	33.0	29.9	34.1
なし	21	345	18	314	18	312	65.2	68.2	66.7
花き	31	8,999	26	8,417	26	8,451	4.3	4.0	5.3
茶(生葉)	784	8,850	786	8,889	789	8,532	6.4	6.5	7.2
荒茶	—	1,739	—	1,747	—	1,671	6.2	6.2	7.0
葉たばこ	43	103	40	102	38	67	9.6	9.9	8.4

資料：農林水産省統計部：・農産物統計調査・野菜の生産状況調査・農産園芸課資料

○ 管内生産量の対県比 (%)



イ 畜産部門

(単位：頭羽数, %)

年 度 区 分	飼 養 頭 数			対 県 割 合		
	30年度	元年度	2年度	30年度	元年度	2年度
生 産 牛	13,872	13,990	14,560	11.5	12.1	12.3
肥 育 牛	14,511	12,810	13,580	9.6	9.0	9.2
乳 用 牛	3,670	3,480	3,470	25.7	25.2	25.7
豚	193,800	202,900	187,100	15.3	15.7	15.2
鶏 (採卵鶏)	2,356,000	1,678,000	1,371,000	20.1	14.6	11.4
鶏 (ブロイラー)	2,644,000	2,571,000	2,566,000	9.5	10.3	9.5

資料：畜産統計(各年度2月1日現在)

(4) 観光

我が国で初めて国立公園に指定された霧島をはじめ、日本一の巨樹蒲生の大楠、日本名水百選の丸池湧水や東洋のナイアガラとも言われる曾木の滝などの豊かな自然、曾木発電所遺構や嘉例川駅などの肥薩線を中心とする近代化産業遺産群、初午祭やくも合戦などの伝統行事、伊佐米や黒酢などの食、多彩な温泉群など多様で特色ある観光資源に恵まれている。

令和2年の霧島地区の観光客数を見ると、延べ宿泊者数で県全体に占める割合が14.8%、延べ日帰り客数で18.4%と、両方とも鹿児島市について多くなっている。なお、前年に比べ宿泊者数は38.5%の減、日帰り客数は14.1%の減となっている。

○ 地区別観光客数

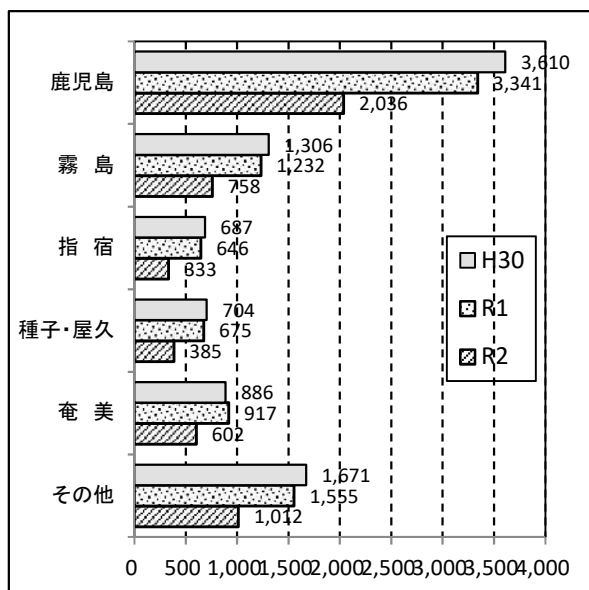
(単位：千人、%)

区分	地区 年 別	鹿児島	霧 島	指 宿	種子島 屋久島	奄 美	その他	県 計
観延 光べ 者宿 数泊	H30年	3,610	1,306	687	704	886	1,671	8,864
	割合	40.7	14.7	7.8	7.9	10.0	18.9	
	R元年	3,341	1,232	646	675	917	1,555	8,366
	割合	39.9	14.7	7.7	8.1	11.0	18.6	
	R2年	2,036	758	333	385	602	1,012	5,127
	割合	39.7	14.8	6.5	7.5	11.7	19.7	
	対前年比	60.9%	61.5%	51.5%	57.0%	65.6%	65.1%	61.3%
観延 光べ 客日 数帰	H30年	4,296	2,628	1,496	241	316	4,842	13,819
	割合	31.1	19.0	10.8	1.7	2.3	35.0	
	R元年	3,912	2,426	1,345	209	311	4,631	12,834
	割合	30.5	18.9	10.5	1.6	2.4	36.1	
	R2年	3,452	2,083	1,138	179	264	4,191	11,306
	割合	30.5	18.4	10.1	1.6	2.3	37.1	
	対前年比	88.2%	85.9%	84.6%	85.6%	84.9%	90.5%	88.1%

資料：R3.11発行 令和2年鹿児島県観光統計

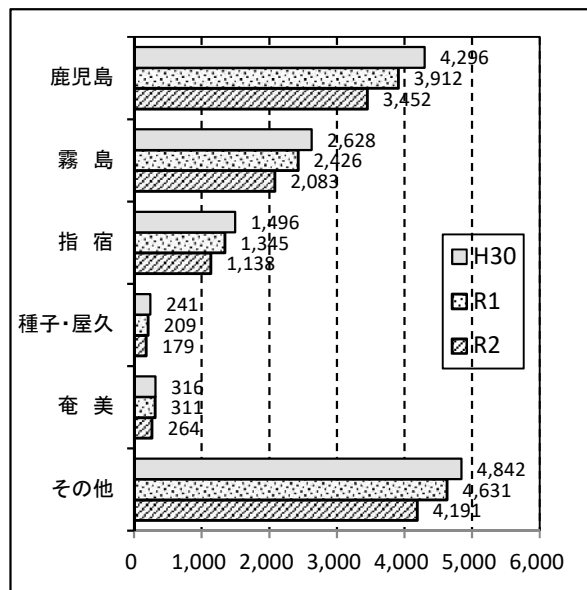
地区別・年別 宿泊者数

単位千人



地区別・年別 日帰り客数

単位千人



(5) 社会資本整備状況

管内の県管理道路は、一般国道5路線、主要地方道16路線、一般県道39路線の計60路線、総延長669kmで、改良率は79.7%となっている。

河川は、1級河川、2級河川併せて87河川、総延長550kmで、改修率は49.6%となっている。

急傾斜地などの土砂災害危険箇所は512箇所、整備率は35.4%となっている。

農業農村整備事業における基盤の整備率は、農道が62.0%、水田が86.5%、畑が32.8%となっている。

(単位：%)

区 分 年 度		道 路 改良率	河 川 改修率	砂 防 整備率	農 道 整備率	ほ場整備率	
						水 田	畑
令和元年度	管 内	79.7	49.5	35.0	62.0	86.4	32.8
	全 県	85.3	46.4	36.2	61.6	80.3	63.1
令和2年度	管 内	79.7	49.6	35.4	62.0	86.5	32.8
	全 県	85.8	46.5	36.3	61.8	80.5	63.2

※ 砂防整備率は、土砂災害危険箇所整備率である。

※ 農道の整備率は、要整備延長、ほ場整備率は、要整備面積に対する整備率である。

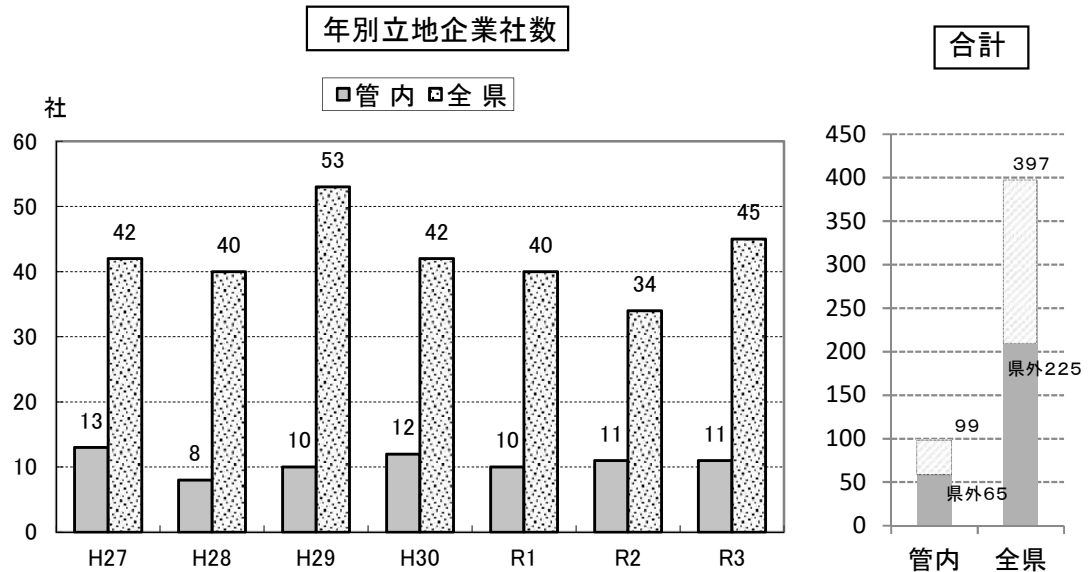
(6) 立地企業数

管内の過去10年間の立地企業数は99社で、県全体の24.9%を占めており、このうち県外企業は65社で、県全体の県外進出企業の28.9%となっている。

年 度	H24-H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計	対県構成比
管 内	24(14)	13(8)	8(3)	10(5)	12(10)	10(9)	11(7)	11(9)	99(65)	24.9%(28.9)
全 県	101(53)	42(28)	40(23)	53(24)	42(28)	40(24)	34(17)	45(28)	397(225)	-

※ 立地協定を市町村と締結した企業数（県外からの進出、県内の工場増設）

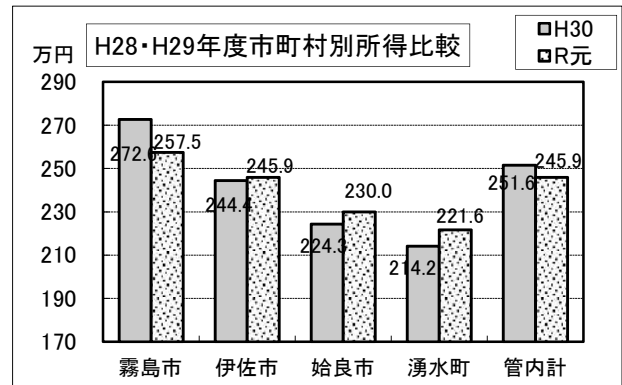
※ () 書きは県外企業で内書き。



6 市町村勢

(1) 市町村民所得

管内の令和元年度の市町村民所得は約5,760億円で、前年を3ポイント下回っている。管内の人口一人当たりの平均所得は2,459千円、対県水準は96.1%だが、霧島市は県平均を上回っている。



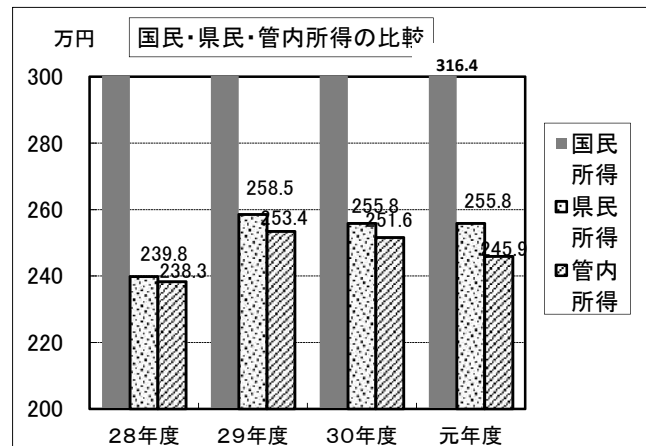
区 分	総 額 (百万円)			人 口 一 人 当 たり				
	管内市町民所得			所 得 (千円)			対県水準 (%)	
	平成30年度	令和元年度	前年比	平成30年度	令和元年度	前年比	平成30年度	令和元年度
霧島市	340,110	318,865	93.8	2,726	2,575	94.5	106.6	100.7
伊佐市	61,968	61,248	98.8	2,444	2,459	100.6	95.5	96.1
始良市	171,136	175,116	102.3	2,243	2,300	102.5	87.7	89.9
湧水町	20,749	20,691	99.7	2,142	2,216	103.5	83.7	86.6
管内	593,963	575,920	97.0	2,516	2,459	97.7	98.4	96.1
県	4,049,381	4,097,532	101.2	2,558	2,558	100.0	-	-
管内割合	14.7	14.1	-	-	-	-	-	-

資料：令和元年度市町村民所得推計結果の概要「Ⅳ 市町村民所得推計主要指標（令和元年推計分）」

【参考】 人口1人当たり所得 千円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度
国民所得	3,091	3,163	3,182	3,181
県民所得	2,398	2,585	2,558	2,558
管内所得	2,383	2,534	2,516	2,459

資料：令和元年度市町村民所得推計結果の概要



(2) 財政状況

令和2年度の財政力指数は、管内すべての市町で県平均を上回っている。

経常収支比率は、すべての市町が財政構造の硬直化が懸念される80%以上となっているが、実質公債費比率は、すべての市町が地方債の発行に国や県の許可が必要となる18%を下回っている。

(単位：百万円，%)

区 分	歳 入	歳 出	実質収支	地方債 現在高	財政力 指 数	経常収 支比率	実質公債 費比率	備 考
霧島市	82,018	78,311	2,701	52,946	0.56	90.5	6.5	
伊佐市	20,652	19,038	650	15,319	0.39	87.9	8.4	
始良市	42,138	41,382	608	30,639	0.51	96.2	11.3	
湧水町	9,685	9,309	362	8,211	0.33	87.8	8.3	
管内計	154,493	148,040	4,321	107,115	0.45	90.6	8.6	
県 計	1,214,155	1,176,122	27,744	921,653	0.29	91.9	6.8	

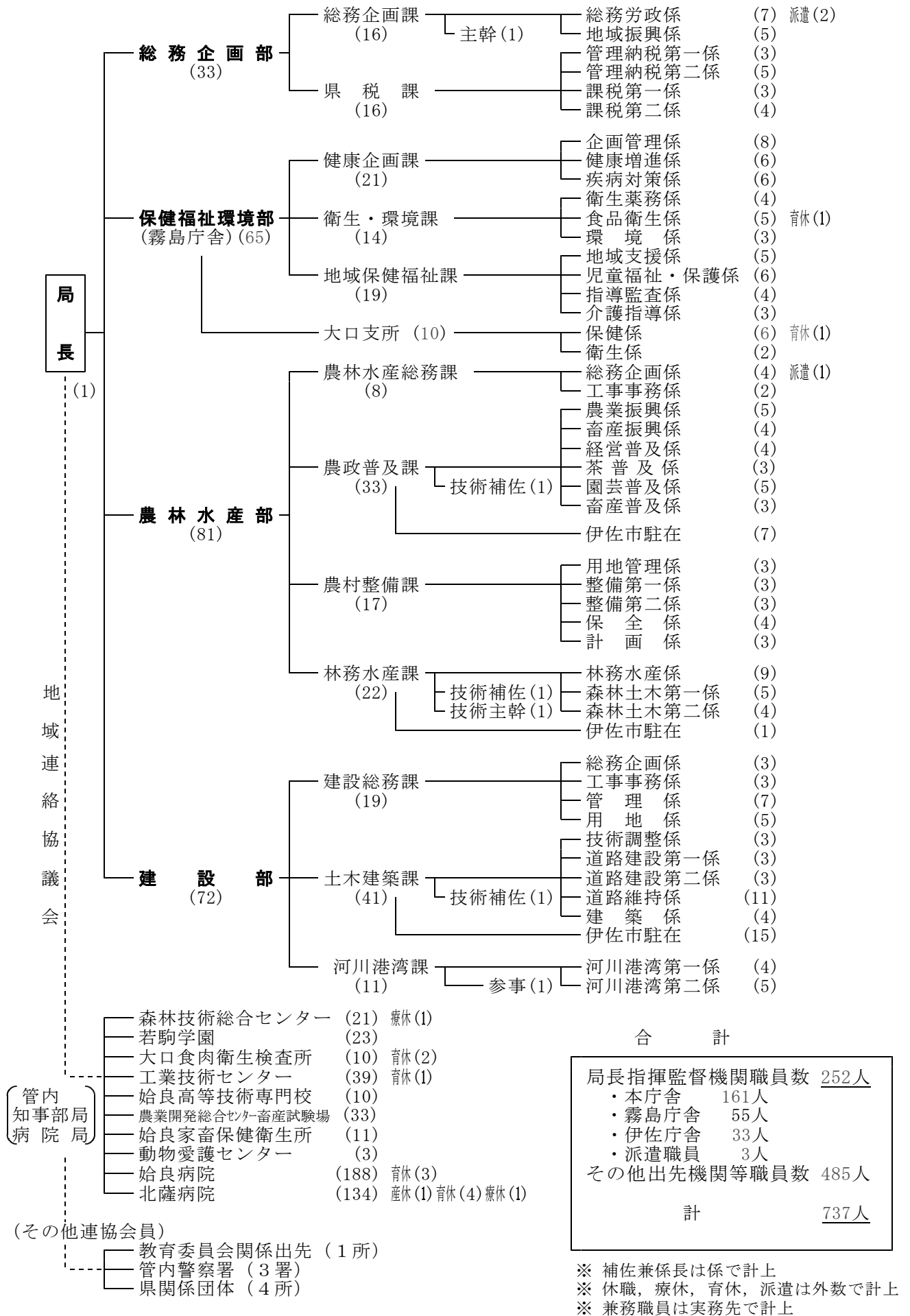
資料：令和2年度市町村普通会計決算の概要（速報値）

※ 管内計の欄の財政力指数、経常収支比率及び実質公債費率は単純平均

※ 県計欄の財政力指数は単純平均、経常収支比率、実質公債費率は加重平均

始良・伊佐地域振興局 行政組織機構

(R4. 4. 1現在)



令和4年度の重点的な取組

始良・伊佐地域振興局

1 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

(1) 県内及び管内の発生状況

県内では、これまでに59,525人の感染者が発生している。このうち8,234人が当振興局管内で発生している。(令和4年4月23日現在)。

(2) 始良保健所の対応

「受診・相談センター」として、引続き医療機関や住民等からの相談を通じ、感染の疑いのある方を診療体制等の整った医療機関に確実につなぐための調整に努める。

また、感染者及び濃厚接触者等に対して積極的疫学調査(行動調査等)を行うとともに、濃厚接触者等の健康観察などを通して、感染拡大防止に努める。

併せて、医師会、消防、市町等の関係機関と連携して、検査体制の拡充及び医療体制の強化に取り組んでいく。

2 観光振興の取組

県観光動向調査(サンプル調査)によると、霧島地区の宿泊客数は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年は約34万人となっており、令和2年の約37万人と比べ6.8%の減少となっている。

また、令和3年度の管内市町のイベントは、地域振興推進事業を活用して実施する予定であった「上野原縄文の森駅伝第30回記念大会」や「特急はやとの風」貸切ツアーの一部が中止になるなどの影響を受けた。

今年度もコロナ禍の収束を見据えて、管内各市町などと連携しながら、始良・伊佐地域の情報発信やマイクロツーリズムの推進を図っていく。

3 JR肥薩線の存続と活用による地域活性化

JR肥薩線は、沿線の人口減による利用客が減少している中、令和2年7月豪雨災害で吉松駅以北は現在も不通となっているほか、特急はやとの風が令和4年3月を最後に肥薩線での運行を終えるなど、沿線自治体は廃線を懸念している。

このような状況に対し、地域振興局では、沿線各駅でイベント等に取り組んでいた地域団体などと行政などが官民連携で考える場を設け、肥薩線を活用した地域活性化の方策を検討し、実証・実行に取り組むため、「肥薩線を活かしたまちづくりプロジェクト」を立ち上げた。令和3年度は沿線地域住民等に対するアンケート調査などを実施し現状の把握などに努めた。令和4年度は地域活性化の方策の実証・実施のため、「肥薩線を活かした企画」を県民から募り、審査の上採択した企画の実施などを予定している。

4 地域医療構想の推進

始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議(7月、10月、3月)を開催し、個別の病院や有床診療所が圏域で担う医療機能や、今後の課題等について情報を共有した上で、協議を行い、各医療施設の病床機能の分化と連携に関する取組を促進する。

5 農林水産業の取組

(1) 地域の特色を生かした農業の振興

- ・ 「稼げる農業」の実現に向けて、人・農地プランの実質化や農地中間管理事業の活用等を進める。
- ・ 引き続き、肉用牛生産基盤の拡大に向けて、規模拡大志向の農家や後継者に対して、畜産クラスター事業等各種補助事業を推進する。
なお、今年10月の第12回全国和牛能力共進会の連覇に向けた取組を展開する。
- ・ 引き続き、有機茶や有機野菜などの生産振興に向けて、組織への栽培講習会や個別指導等を通じ、管理技術の平準化を図る。

(2) 農地利用・基盤整備に関する施策

- ・ 担い手への農地集積や水田フル活用等の政策課題に応じた農地や農業水利施設の整備を実施し、「稼げる農業」の実現に向けて、経営体育成基盤整備事業を進める。
- ・ 農地中間管理機構が借り入れている農地について、区画整理等の基盤整備を実施し担い手への農地の集積・集約化を図る農地中間管理機構関連農地整備事業を進める。

(3) 木材需要の増加への対応と健全な森林づくりの推進

- ・ 引き続き、原木の安定供給体制の構築を図るとともに、森林の持つ多面的機能を継続的に維持させるよう、伐採後の再生林や間伐などによる森林資源の循環利用を推進する。
なお、今年度から新たにCLTや2×4工法部材を生産する大型加工施設の操業開始に伴う、更なる木材需要の増加にも対応する。
- ・ 森林所有者の経営意欲の減退等により管理の行き届かない森林の増加が懸念されることから、市町が主体となって取り組む「森林経営管理制度」の円滑な実施に向け、市町の業務体制や経営管理に関する取組を支援し、適切な森林経営管理を推進する。

6 社会資本の整備

(1) 広域的な交流や地域間交流に資する道路の整備

＜空港アクセスを強化する道路の整備＞

- ・ 国道504号 西光寺工区（道路改良、トンネル、用地補償など）等
- ・ 地域高規格道路（北薩横断道路） 溝辺道路（測量設計調査など）
- ・ 県道伊集院蒲生溝辺線 蒲生工区（用地補償など）

＜都市内の快適な交通環境の確保＞

- ・ 街路事業 帖佐駅三拾町線線（測量設計調査など）

(2) 防災対策の実施

＜新燃岳噴火・降灰に伴う土砂災害防止対策＞

霧島川の整備

- ・ ハード対策：砂防堰堤整備等

火山噴火緊急対策事業にて備蓄ブロックの製作

＜防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策＞

防災のための重要インフラ等の機能維持

- ・ 河川事業：樹木、堆積土砂等による氾濫危険性の解消。
- ・ 砂防事業：堰堤等の整備による土砂災害の防止。